

# 第 43 期 決 算 公 告

札幌市中央区南8条西8丁目523番地

株式会社札幌北洋カード

代表取締役社長 石垣 和明

2026年6月25日

## 貸 借 対 照 表

( 2026 年 3 月 31 日 現在 )

( 単 位 : 千 円 )

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	18,035,571	<b>流 動 負 債</b>	15,668,890
現金・預金	4,723	加盟店未払金	9,781,093
会員未収金	4,812,704	未払金	39,156
求償権	171,159	当座借越	5,412,630
未収金	10,723,003	未払費用	139,696
貸付金	45,971	預り金	1,271
貯蔵品	7,730	会員前受金	10,612
未収収益	128,930	前受収益	10,312
前払費用	1,718	その他流動負債	99,372
その他流動資産	2,324,956	保証債務損失引当金	85,002
貸倒引当金	△ 185,328	販売促進引当金	7,952
		賞与引当金	25,759
		未払法人税等	56,031
<b>固 定 資 産</b>	556,447	<b>固 定 負 債</b>	78,500
<b>有形固定資産</b>	45,736	過剰利息返還請求引当金	9,000
建物	22,987	退職給付引当金	29,790
什器備品	21,457	繰延税金負債	39,710
一括償却資産	1,291	<b>負 債 合 計</b>	15,747,391
<b>無形固定資産</b>	3,501	<b>純 資 産 の 部</b>	
電話加入権	2,930	<b>株 主 資 本</b>	2,537,517
ソフトウェア費	571	<b>資本金</b>	100,000
<b>投資その他資産</b>	507,209	<b>資本剰余金</b>	47,861
投資有価証券	504,231	資本準備金	27,500
会員権	0	その他資本剰余金	20,361
保証権利金	0	<b>利益剰余金</b>	2,389,656
長期前払費用	2,977	利益準備金	32,500
		その他利益剰余金	2,357,156
		別途積立金	580,000
		繰越利益剰余金	1,777,156
		<b>評価・換算差額等</b>	307,108
		その他有価証券評価差額金	307,108
		<b>純 資 産 合 計</b>	2,844,626
<b>資 産 合 計</b>	18,592,018	<b>負債および純資産合計</b>	18,592,018

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- a. 時価のあるもの  
決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定しています。)
- b. 時価のないもの  
移動平均法による原価法
- c. 評価差額  
全部純資産直入法により処理しています。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- a. 有形固定資産…法人税法の規定による定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備並びに構築物は定額法を採用しております。
- b. 無形固定資産…法人税法の規定による定額法を採用しております。

### (3) 引当金の計上基準

- a. 貸倒引当金…債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。
- b. 賞与引当金…従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。
- c. 保証債務損失引当金…保証債務の貸し倒れによる損失に備えるため、種類別に債権の回収可能性を勘案して計上しております。
- d. 退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額により計上しております。
- e. 販売促進引当金…ポイント交換支払に備えるため、支払見込額をブランドごとに算出計上しております。
- f. 利息返還請求損失引当金…弁護士介入等による過剰利息返還請求に備えるため、過去返還請求があった金額累計、期間等を勘案し見込額を計上しております。

### (4) その他の計算書類の作成のための基本となる重要事項

- a. リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- b. 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### (5) 収益認識に関する会計基準等の適用

クレジットカード年会費に係る収益について従来の契約開始日に認識する方法から一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

## 2. 当期純損益金額

繰越利益剰余金1,777,156千円、うち当期純利益は198,312千円となっております。